

名古屋大学教育学部 2008年度 後期
教育方法学講義I
- 教育方法概論 -

第8回 講義資料 W

担当 柴田好章 (教育方法学・准教授)

体験を通して学ぶことの意味は何か？ (2) —体験学習の意義の考察—

本日の授業の目標

○体験学習の事例 (テキスト6章) にもとづき体験学習の意義を考察する。

教育と生活の統合

◆◆教育と生活の結合 ———現代教育方法辞典

【語義】学校において行われる教育を_____の_____と結びつけることにより、
教育活動を適切化し、人間の成長・発達の実現を図ろうとする原理。

_____と_____の結合と並ぶ基本原理である。

【歴史と意義】近代教育学の礎を築いた【ルソー】は、理性的な人間を育てるのに、
_____から始める教育は誤りだと指摘。道理を_____で説くのではなく、
子ども自らが_____から教訓を学ぶように配慮しなければならないとした。

これを、幼児・児童期における「_____教育」という。

さらに_____と_____の教育を少年期にふさわしいものとして構想。

【ペスタロッチ】、「_____が_____ (_____) する」,

身近な「生活圏」から出発する教育を実践。

【K. マルクス】 教育と_____を結合することが人間の全面的な発達を促す。

20 世紀初頭, 【デューイ】, 教育は「_____の_____」であるとする考え。

自ら_____の経営にもあたるなどして, 「_____」の教育を実践。

デューイの思想を基盤とする_____運動は, _____・プランなどの_____を重視するカリキュラムを生む。

同時期, 【N. K. クルプスカヤ】 ロシア革命を経たソビエト連邦において, _____と_____の適切な結合を提唱。_____という教育形態に結実。

【日本：大正期】 においては, _____と呼ばれる思想・政治状況のもとで, デューイを含む 「_____中心主義」の影響をも受ける形で実「_____教育」。

ただし, この段階での実践は, 私立小学校や一部の師範学校の附属小学校などに限定

【日本：昭和：戦前】 1929（昭和4）年の『_____』の創刊を画期として展開した「_____」運動によって, 子どもの生活を重視する教育活動が, 全国的な広がり。子どもが自らの_____を見つめ, _____するを通して, _____だけではなく, ものの見方, 感じ方, 考え方, 総じて_____を豊かにする教育活動。

さらに, _____力や子どもの相互の_____感の形成をも図る。

軍国主義への傾斜のなかで, 運動は壊滅。

【戦後の教育改革】のもとで, カリキュラムは_____が編成するものという原則。

そのための試案として提示された_____年版学習指導要領と_____年改訂版は, _____・プランなどに学んで, 生活経験の組織を重視。

地域調査をもとに, _____科をコアとしてカリキュラムが構成。

【問題解決学習】 子どもの_____と_____を結びつけようとする試み。

子どもを_____の_____に正対させ、その解決を追究させようとする学習。

「_____学習」を標榜し、法的拘束力ありとされる_____年版の改訂学習指導要領を
機に、生活経験を重視するカリキュラムづくりは下火。

「日本生活教育連盟（コア・カリキュラム連盟を改称）」などの研究団体においては、生活と教育とを結びつける実践が粘り強く追究されてきた。

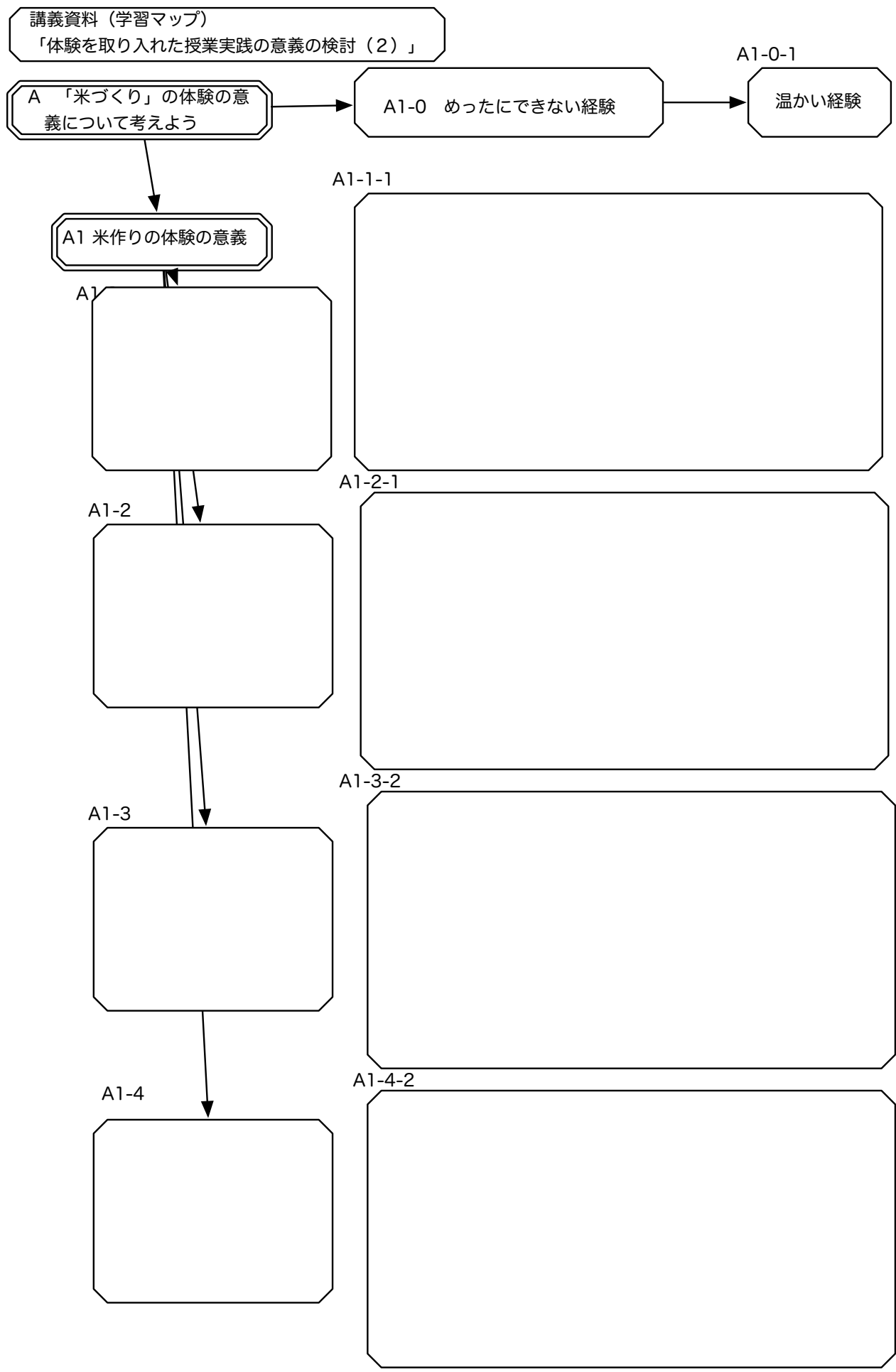
1950年代には、_____が復活。 『山びこ学校』

現在は、「_____の会」を中心に「作文指導」として実践されている。

当初から「生活指導」という用語も生み出している。

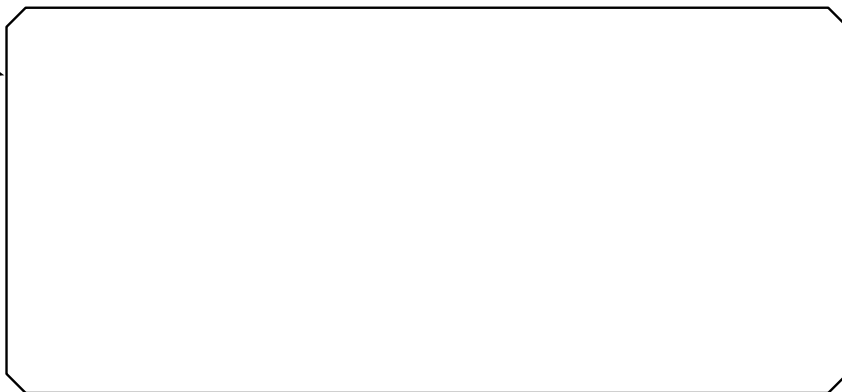
_____年学習指導要領に「_____」が特設され、市民形成を目的とする_____科が変質。

（三上勝夫）



B 授業の反省点

B1



C 子どもをとりまく
人間関係の変化（親の感想）

C1

とき／出来事	気持ち	理由